

消 防

予 防

火災予防を推進するため、消防団及び防火関係団体と連携し、住民に対する火災予防思想の普及を図り、火災発生の防止及び火災による死傷者を減少するよう努めました。

また、防火対象物及び危険物施設への立入検査を実施し、消防法令違反を発見した際は改善指導、警告等を行い違反是正の推進に努めました。

さらに、令和元年10月沖縄県で発生した首里城の建物火災など社会的影響のある火災を鑑み、管内の葦山反射炉等の重要文化財について緊急査察を行い、関係者に対し火災予防に対する意識を向上させ、類似の火災による被害を防止するよう努めました。

1 防火広報等

秋季と春季の全国火災予防運動期間中は、消防訓練や高齢者世帯及び一般世帯への住宅防火訪問調査のほか、防火に関する体験型イベント、街頭広報等を実施し、住民一人一人が普段の生活の中で、防火に対する意識が薄れぬよう、継続して火災予防の対策を構築できるよう努めました。

(1) 火災予防運動等実施期間

- ア 危険物安全週間 令和元年6月2日～令和元年6月8日
- イ 秋季全国火災予防運動 令和元年11月9日～令和元年11月15日
- ウ 春季全国火災予防運動 令和2年3月1日～令和2年3月7日

(2) 火災予防運動等実施期間中の実施内容

- ア 高齢者世帯及び一般世帯への住宅防火訪問調査 調査件数 374件
- イ イベント会場における各種広報活動
- ウ 小学生、幼児を対象とした防火ポスターコンクールの実施
- エ 女性防火クラブ、幼年消防クラブ、少年消防クラブ等による防火広報
- オ ラジオ局、ケーブルテレビ局等を活用した防火広報
- カ 駿東伊豆消防本部ホームページ、構成市町広報紙等による防火広報
- キ 危険物施設へののぼり旗の掲揚及び危険物事故防止の広報

2 消防設備

建物の新築、増・改築、大規模な模様替え等の建築確認申請に伴う消防同意及び消防法令に基づく消防用設備等の設置指導を実施しました。

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	増減
消防同意（建築物の調査及び安全指導）	529	452	△77
消防法令に基づく消防用設備等の完成検査	701	908	207

3 査察

防火対象物及び危険物施設の立入検査を実施しました。

また、利用者及び防火対象物関係者の防火安全に対する認識を高めていただくことを目的に、重大な消防法令違反のある防火対象物についてホームページにて公表する「違反對象物公表制度」により、違反對象物を利用者に周知するとともに、これらの防火対象物に対し早期に是正するよう重点的に指導し、防火安全対策の推進を図りました。

(1) 立入検査（防火対象物）

(単位：件)

市 町	平成30年度	令和元年度	増減
沼 津 市	1,130	877	△253
伊 東 市	755	621	△134
伊 豆 市	336	265	△71
伊豆の国市	254	303	49
東伊豆町	181	132	△49
函 南 町	194	162	△32
清 水 町	160	168	8
合 計	3,010	2,528	△482

(2) 立入検査（危険物施設）

(単位：件)

市 町	平成30年度	令和元年度	増減
沼 津 市	41	23	△18
伊 東 市	53	47	△6
伊 豆 市	42	21	△21
伊豆の国市	44	21	△23
東伊豆町	22	7	△15
函 南 町	19	8	△11
清 水 町	10	5	△5
合 計	231	132	△99

(3) 違反対象物公表制度

公表した防火対象物数 4 件

是正された防火対象物数 3 件

4 危険物

消防法令に基づき製造所、貯蔵所及び取扱所の危険物施設の許可、完成検査等を実施しました。

(1) 危険物施設

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	増減
設置・変更許可	121	139	18
設置・変更完成検査	118	136	18
仮使用承認	84	98	4
水圧（水張）検査	10	5	△5
仮貯蔵・仮取扱承認	16	24	8
合 計	349	402	53

(2) 煙火消費

(単位：件)

区 分	平成30年度	令和元年度	増減
許可件数	75	72	△3
届出件数	101	86	△15

※ 打ち上げ花火などの煙火を消費する場合には、その「種類」及び「数量」により県知事から権限移譲を受けた市町村長等の許可が必要となります。

許可未満の消費の場合には、消防長に届出が必要となります。

5 火災

令和元年中における火災件数は159件で、前年と比較すると9件減少し、火災の種別ごとに見ると、「建物火災」が92件で全体の57.9%と最も多く、次いで枯草などが燃える「その他の火災」が48件発生しました。

火災による死傷者は33人で、前年と比較すると3人増加し、主な出火原因としては、「放火又は放火の疑い」が28件（17.6%）、「たき火・火入れ」が20件（12.6%）、「たばこ」が14件（8.8%）となっております。

(1) 火災件数

(単位：件)

市 町	平成30年中	令和元年中	増減
沼 津 市	77	85	8
伊 東 市	22	18	△4
伊 豆 市	16	16	0
伊豆の国市	21	15	△6
東伊豆町	14	6	△8
函 南 町	10	14	4
清 水 町	8	5	△3
合 計	168	159	△9

(2) 火災種別（ ）内、平成30年中との増減

(単位：件)

市 町	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他の火災
沼 津 市	47(11)	0(△3)	10(2)	0(0)	28(△2)
伊 東 市	11(5)	0(0)	2(0)	0(△1)	5(△8)
伊 豆 市	11(7)	0(△1)	1(1)	0(0)	4(△7)
伊豆の国市	8(△2)	2(0)	1(△1)	0(0)	4(△3)
東伊豆町	4(△2)	0(0)	0(0)	0(0)	2(△6)
函 南 町	8(2)	1(0)	2(2)	0(0)	3(0)
清 水 町	3(△1)	0(0)	0(0)	0(0)	2(△2)
合 計	92(20)	3(△4)	16(4)	0(△1)	48(△28)

(3) 焼損床面積

(単位：㎡)

市 町	平成30年中	令和元年中	増減
沼 津 市	1,383	3,874	2,491
伊 東 市	362	194	△168
伊 豆 市	20	918	898
伊豆の国市	510	1,071	561
東伊豆町	213	0	△213
函 南 町	327	802	475
清 水 町	17	50	33
合 計	2,832	6,909	4,077

(4) 損害額

(単位：千円)

市 町	平成30年中	令和元年中	増減
沼 津 市	85,058	1,070,496	985,438
伊 東 市	22,097	6,405	△15,692
伊 豆 市	767	41,712	40,945
伊豆の国市	35,296	50,573	15,277
東伊豆町	11,633	77	△11,556
函 南 町	16,995	28,171	11,176
清 水 町	2,450	5,913	3,463
合 計	174,296	1,203,347	1,029,051

(5) 負傷者（死亡）

(単位：人)

市 町	平成30年中	令和元年中	増減
沼 津 市	10 (3)	16 (1)	6 (△2)
伊 東 市	3 (0)	4 (2)	1 (2)
伊 豆 市	2 (1)	3 (1)	1 (0)
伊豆の国市	5 (0)	1 (0)	△4 (0)
東伊豆町	6 (5)	2 (0)	△4 (△5)
函 南 町	4 (0)	5 (2)	1 (2)
清 水 町	0 (0)	2 (0)	2 (0)
合 計	30 (9)	33 (6)	3 (△3)

(6) 出火原因別件数

(単位：件)

区分	放火・放火 の疑い	たき火・火 入れ・取灰	たばこ	こんろ・か まど	電気機器・ 電気装置	その他	不明	合計
平成30年中	27	36	18	11	8	61	7	168
令和元年中	28	20	14	13	12	65	7	159
増 減	1	△16	△4	2	4	4	0	△9

警 防

1 消防車等の配備

田方中消防署にはしご付消防自動車1台、沼津北消防署、田方中消防署及び東伊豆消防署に高規格救急自動車各1台、消防本部に連絡車1台、第1方面消防室に軽連絡車1台を更新配備しました。

また、沼津北消防署原分署の軽連絡車1台を廃車し、更新に係る既存救急車3台は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会用の車両として警防救急課の所管に配置転換しました。

令和2年3月31日現在

方面	署 所	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車	消防ポンプ付水槽車	はしご付消防自動車	屈折はしご付消防自動車	高規格救急自動車	救助工作車	指揮車	多機能型災害対応車	人員搬送車	指令車	火災調査車	搬送車	救急普及啓発広報車	連絡車	原付バイク	合計	
本部	総務課																3		3	
	予防課												1	1			1		3	
	警防救急課							3							1		3		7	
	通信指令課																1		1	
第1方面	第一方面消防室																4		4	
	沼津北消防署	1	1	1			1	3	1	1		1	1		2			1	14	
	原分署	1	2		1			1							2			1	8	
	沼津南消防署	1	2	1	1	1		2	1	1			1		2		1	1	15	
	静浦分署		1					1			1				1				4	
	内浦出張所		1															1	1	3
	大平出張所		1															1		2
	西浦出張所		1					1										1		3
	戸田出張所	1						1										1		3
清水町消防署	1	1					2	1				1		1					7	
第2方面	第二方面消防室												1				3		4	
	田方中消防署		1	1	1	1		2		1	1				1				9	
	田方北消防署	2						1	1			1	1		1				7	
	田方南消防署	3						2	1				1		1	1	1		10	
	西出張所		1					1										1	3	
第3方面	第三方面消防室												1		1		2		4	
	伊東消防署	2	1		1		1	2	1	1		1			2				12	
	八幡野分署	1						1											2	
	宇佐美出張所		1					1											2	
	吉田出張所	1						1											2	
東伊豆消防署	1	1				1	2					1					1	7		
合 計		15	15	3	4	2	3	27	6	4	2	3	9	1	15	1	25	4	139	

※水槽付消防ポンプ自動車は、1,500リットル以上の水槽を持つ消防車に分類される。

※東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にて使用する救急車3台が増台。

2 出動件数

救助出動件数は、次のとおりです。

救助出動件数

(単位：件)

	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械事故	建物事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計
30 年中	5	89	26	0	7	80	2	0	72	281
元 年中	8	81	28	20	3	85	0	0	80	305
増 減	3	△8	2	20	△4	5	△2	0	8	24

3 主な訓練等

(1) 緊急消防援助隊静岡県大隊後方支援中隊合同訓練

ア 実施日 令和元年9月5日
イ 場所 静岡市消防局 消防広場
ウ 参加隊 後方支援隊1隊
エ 参加職員数 6人
オ 参加機関 静岡県内16消防本部

(2) 東部消防長会東部地区消防大規模災害対応合同訓練

ア 実施日 令和元年10月24日
イ 場所 富士サファリパーク駐車場
ウ 参加隊 指揮隊1隊 高度救助隊1隊 救急隊1隊
エ 参加職員数 12人
オ 参加機関 静岡県東部地区7消防本部

(3) 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練

ア 実施日 令和元年11月1日・2日
イ 場所 福井県下3会場
ウ 参加隊 高度救助隊1隊 後方支援隊1隊
エ 参加職員数 10人
オ 参加機関 中部ブロック緊急消防援助隊7県（静岡県・愛知県・岐阜県・三重県・富山県・石川県・福井県）消防本部
他地域ブロック緊急消防援助隊・福井県警・医療機関・陸上自衛隊

(4) 令和元年度国民保護共同実動訓練

ア 実施日 令和元年12月18日
イ 場所 富士スピードウェイ及びその周辺地域

ウ 参加隊 指揮隊1隊 高度救助隊1隊 救急隊3隊
エ 参加職員数 18人
オ 参加機関 静岡県東部地区7消防本部及び静岡市消防局
陸上自衛隊・静岡県警・静岡県消防防災航空隊・海上保安庁等

(5) 志太消防本部高度救助隊との大規模災害（震災）対応合同訓練

ア 実施日 令和2年2月16日から令和2年2月18日
イ 場所 志太消防本部 藤枝消防署訓練場
ウ 参加隊 高度救助隊1隊
エ 参加職員数 15人
オ 参加機関 志太消防本部

(6) 湯河原町消防本部、箱根町消防本部及び駿東伊豆消防本部合同訓練

ア 実施日 令和2年3月6日
イ 場所 神奈川県湯河原町鍛冶屋桜郷付近
ウ 参加隊 消防隊3隊
エ 参加職員数 9人
オ 参加機関 湯河原町消防本部・箱根町消防本部

救 急

1 出動件数

救急出動件数は、次のとおりです。

救急出動件数

(単位：件)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
30年中	182	2	51	1,623	165	121	3,774	99	173	14,710	3,982	24,882
元年中	167	13	42	1,385	166	122	3,752	66	158	15,072	3,867	24,810
増減	△15	11	△9	△238	1	1	△22	△33	△15	362	△115	△72

2 現場到着時間及び病院収容所要時間

救急自動車による現場到着時間及び病院収容所要時間は、次のとおりです。

(単位：分)

		入電～現場到着	現場到着～搬送開始	搬送開始～病院到着	合計
沼津市	30年中	8.5	20.5	11.3	40.3
	元年中	8.6	20.5	11.4	40.5
伊東市	30年中	9.4	16.2	17.1	42.7
	元年中	9.4	16.7	15.5	41.6
伊豆市	30年中	12.1	19.4	18.7	50.2
	元年中	11.7	20.1	18.3	50.1
伊豆の国市	30年中	8.2	18.7	12.0	38.9
	元年中	8.2	19.9	11.6	39.7
函南町	30年中	10.7	19.6	15.7	46.0
	元年中	11.2	21.0	14.9	47.1
東伊豆町	30年中	11.1	19.0	25.2	55.3
	元年中	12.0	20.1	24.5	56.6
清水町	30年中	7.5	19.6	10.1	37.2
	元年中	7.3	20.0	10.4	37.7
全体	30年中	9.7	19.0	15.7	44.4
	元年中	9.8	19.8	15.2	44.8

※ 小数点第二位を四捨五入のため、全体等が一致しない場合があります。

3 救急教育

救急救命士の研修として、病院実習及び各種研修会を実施しました。また、応急手当普及啓発活動の一環として、学校、事業所及び自治会等に救急救命講習を実施しました。

(1) 救急救命士研修（対象者：72人）

病院実習 一人平均32時間、その他研修 一人平均64時間

(2) 救急講習 8,382人 318回

ア 参加人数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
普通Ⅰ	76	318	386	362	248	109	206	324	272	63	221	0	2,585
普通Ⅱ	58	97	35	205	209	88	35	82	125	6	0	0	940
普通Ⅲ	0	37	51	86	41	13	0	0	7	0	26	0	261
上級	0	17	33	18	37	16	0	18	0	22	14	0	175
その他	112	573	678	479	80	1,692	215	132	324	69	55	0	4,409
普及員	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	7	0	11
指導員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	246	1,042	1,183	1,151	615	1,918	456	560	728	160	323	0	8,382

イ 講習回数

(単位 回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
普通Ⅰ	6	5	16	16	11	8	12	11	11	4	13	0	113
普通Ⅱ	5	3	2	9	11	6	3	5	6	1	0	0	51
普通Ⅲ	0	4	3	4	2	1	0	0	1	0	1	0	16
上級	0	1	1	1	2	2	0	1	0	1	1	0	10
その他	6	17	34	22	5	12	9	3	12	2	3	0	125
普及員	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
指導員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	17	30	56	53	31	29	24	21	30	8	19	0	318

4 主な訓練等

救急フェア2019

- (1) 実施日 令和元年9月7日（土）
- (2) 場所 函南町上沢 かなみ知恵の和館・函南町文化センター
- (3) 参加車両 高規格救急自動車1台（展示）
- (4) 参加職員数 32人
- (5) 来場者 833人
- (6) 内容 講演、心肺蘇生法、119番通報体験、バルーンアートショー、高規格救急自動車及び救急資器材展示ほか

通 信

119番通報受信概況

令和元年中における119番受信件数は34,723件(前年比+327件)で、1日平均95.1件を受信している。

火災・救急等の災害通報は、27,776件で全体の80.0%を占め、緊急性のない問合せ等については6,947件で20.0%である。

携帯電話からの通報は13,588件で39.1%を占め、一般電話等からの通報は9,655件で27.8%、I P電話からの通報は9,835件で28.3%である。

なお、前年と比較すると、携帯電話からの通報は1,010件増加し、一般電話等からの通報は933件減少し、I P電話からの通報は525件増加した。

[119番通報受信状況]

(単位：件)

災害種別		合計	災 害 通 報					緊急性のないもの			
			小計	火災	救急	救助	他の災害	小計	問合せ	間違い等	訓練他
合 計	R元年	34,723	27,776	380	24,605	496	2,295	6,947	2,591	1,776	2,580
	H30年	34,396	27,585	359	24,756	407	2,063	6,811	2,678	1,692	2,441
増 減		327	191	21	△ 151	89	232	136	△ 87	84	139
携帯電話	R元年	13,588	10,757	209	9,530	244	774	2,831	1,488	1,040	303
	H30年	12,578	10,148	209	8,994	221	724	2,430	1,402	844	184
増 減		1,010	609	0	536	23	50	401	86	196	119
一般電話	R元年	9,655	7,075	60	6,395	162	458	2,580	459	492	1,629
	H30年	10,588	7,745	53	7,269	83	340	2,843	641	583	1,619
増 減		△ 933	△ 670	7	△ 874	79	118	△ 263	△ 182	△ 91	10
I P電話	R元年	9,835	8,545	59	8,276	35	175	1,290	539	197	554
	H30年	9,310	8,160	55	7,895	24	186	1,150	482	198	470
増 減		525	385	4	381	11	△ 11	140	57	△ 1	84
上記以外	R元年	1,645	1,399	52	404	55	888	246	105	47	94
	H30年	1,920	1,532	42	598	79	813	388	153	67	168
増 減		△ 275	△ 133	10	△ 194	△ 24	75	△ 142	△ 48	△ 20	△ 74

[市町別受信状況]

(単位：件)

市町別	災害通報			緊急性のないもの		
	R元年	H30年	増減	R元年	H30年	増減
合 計	27,776	27,585	191	6,947	6,811	136
沼津市	11,555	11,661	△ 106	3,043	3,153	△ 110
清水町	1,705	1,719	△ 14	303	260	43
函南町	1,989	1,877	112	396	377	19
伊豆の国市	3,279	3,114	165	544	516	28
伊豆市	2,270	2,230	40	504	555	△ 51
伊東市	5,729	5,825	△ 96	1,555	1,377	178
東伊豆町	1,144	1,028	116	398	363	35
管外	105	131	△ 26	204	210	△ 6